



# 曲の構成や曲想の変化を捉え、音楽を味わおう

「交響曲第5番 ハ短調」第1楽章は、提示部、展開部、再現部、コーダ(終結部)の4つのまとまりからなる「ソナタ形式」の曲です。楽譜(p.38、39)を確認しながら、第1楽章を聴きましょう。

- 第1楽章の冒頭部分を聴いて、曲の印象や知っていることなどを、自由に話し合しましょう。また、「楽曲について」や作曲家(p.41)、「交響曲について」(p.41)、演奏に使用されている楽器(p.44「オーケストラの演奏」)について、確認しましょう。

話し合ったことや確認したことなどを書きましょう。

- この曲では、冒頭に登場する下の譜例のような動機の音型が繰り返し用いられ、さまざまな楽器で演奏されます。

【譜例】 動機の音型



- 提示部の第1主題を聴いて、音楽の特徴として聴き取ったことや感じ取ったことを、下の表に書きましょう。
- 次に、第1主題と第2主題を聴き比べ、第2主題について音楽の特徴として聴き取ったことや感じ取ったことを、下の表に書きましょう。また、第2主題では動機がどのように現れているかを確認しましょう。

	聴き取ったこと	感じ取ったこと
第1主題		
提示部		
第2主題		

- 展開部、再現部、コーダ(終結部)それぞれの部分を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを、下の表に書きましょう。また、書いたことについて意見交換をしましょう。

	聴き取ったこと	感じ取ったこと
展開部		
再現部		
コーダ		

意見交換したことなどを書きましょう。

- ②と③で書いたことや意見交換したことを確認したり、「ソナタ形式」を意識したりしながら、第1楽章を通して聴きましょう。
- ①～④を踏まえ、「交響曲第5番 ハ短調」第1楽章について批評文を書きましょう。

深めよう!

- 「交響曲第5番 ハ短調」は、4つの楽章からなる作品です。それぞれの楽章の特徴を感じ取りながら、第2～4楽章も聴いてみましょう。

それぞれの楽章を聴いた感想などを書きましょう。